

2023年度 事業計画書

【第11期】

自：2023年4月 1日

至：2024年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

2023年度 事業計画書 目次

	頁
I. 本年度の基本方針	・・・1
II. 事業及び活動の計画	
はじめに	・・・1
1. 普及啓発・支援活動	
(1) 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営	・・・2
(2) 機関誌の発行	・・・2
(3) 漢字文化啓発イベント	・・・2
(4) 助成	・・・3
(5) 支援活動	・・・3
(6) Webサイトの運営	・・・3
2. 調査及び研究活動	
(1) 漢字文化研究	・・・3
(2) 日本語・漢字教育研究	・・・4
3. 日本語能力育成活動	
(1) 日本漢字能力検定（漢検）	・・・4
(2) BJTビジネス日本語能力テスト（BJT）	・・・6
(3) 文章読解・作成能力検定（文章検）	・・・6
(4) 学習支援講座	・・・7
(5) 教材の発行	・・・7
III. その他	・・・8

事業年度：2023年4月1日～2024年3月31日

I. 本年度の基本方針

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は、文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会（以下、当協会）は、「社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習（※1）の振興を通じて日本文化の発展に寄与すること」を目的としています。

当協会は、日本語を使うあらゆる年齢層・国籍の人々にとって、我が国で日常使用される言語であり日本人の思考の土台となっている日本語・漢字に対する理解を深めることが、人々の円滑かつ的確な意思疎通につながり、より豊かな生活・社会の実現につながると考えています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延から3年が経過し、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の社会と言われるようになりました。この感染症の蔓延により、社会環境や人々の生活は大きく変化し、あらゆる分野でDX（デジタルトランスフォーメーション）推進が叫ばれています。教育分野においても、学びを止めないためにオンライン教育の必要性と重要性が一段と高まっています。

教育現場では、新学習指導要領（生きる力をはぐくむことを目指し、基礎的・基本的な知識および技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うために、言語活動を充実する。）やGIGAスクール構想への対応、教職員の働き方改革等も求められています。また、地域全体での教育力の向上のために、学校と地域との連携強化も必要となっています。

社会全体では、VUCA（※2）の時代と呼ばれる予測困難な時代において、Society5.0と言われる近未来で活躍する人材育成や、様々な社会課題を解決し持続可能な社会を実現するために人材への投資が必要とされ、継続的な学びの重要性が高まっています。

こういった背景を受け、当協会でもDXを推進し、あらゆる人の学びを支えるためのコンテンツの開発や教育コンテンツの利活用による教育現場を支援するサービスの充実を目指します。また、教育の質向上のみならず、少子高齢化、認知症予防等の社会課題の解決に繋がる取り組みを進めてまいります。

普及啓発・支援活動、調査及び研究活動、日本語能力育成活動との相乗効果を発揮し、学校教育に留まらず、「人生100年時代」とも言われる「生涯学習社会」において人々が「生きる力」を育むことを支える「日本語・漢字のコンテンツ」を提供していくことで、「持続可能な社会」「豊かな社会」の実現に貢献します。

（※1）改正教育基本法第三条「生涯学習の理念」（全文掲載）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

（※2）ブーカ：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）

● 事業

- （1）日本語・漢字に関する普及啓発・支援
- （2）日本語・漢字に関する調査及び研究
- （3）日本語・漢字に関する能力育成
- （4）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 事業及び活動の計画

はじめに

我が国における生涯学習の振興と日本文化の発展に寄与するため、「普及啓発・支援」「調査及び研究」「日本語能力育成」の各活動を、有機的に結びつけた相互補完関係を保つ一つの事業として展開し、あらゆる人々の日本語・漢字の理解・運用能力の向上に向けた“学び”を支えます。

1. 普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心と尊重の念を高め、生涯にわたって学習する動機付けや豊かな言語生活が営まれる環境等を整備するため、次に掲げる（１）～（６）の手段により、普及啓発・支援活動を行います。

（１）漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の“学び”の動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する資料・情報の収集や展示、発信を通じて漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学べる「漢字ミュージアム」を運営します。

来館者は6万人を想定しています。

①開館時間：午前9時30分～午後5時

②休館日：毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始

※臨時休館や開館時間を短縮する場合があります。

③入館料（税込）：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障がい者
個人	団体	個人	団体	個人	団体		
800円	700円	500円	400円	300円	200円	無料	無料

*団体は20名以上で適用／障がい者の介護人（1名）免除

○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ1名につき100円引）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人1名につき300円引（2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効）

大人2,500円　大学生・高校生1,600円　中学生・小学生1,000円

④企画展の開催

漢字文化研究の成果の発表および常設展示における漢字の形・音・義をさらに発展的に理解していただける企画展を開催します。年3回程度の実施を計画しています。

⑤ワークショップの実施

館内でのワークショップを再開するとともに、機会に応じ出張ワークショップも行います。

（２）機関誌の発行

漢字に対する興味関心を高め、学びの促進につながるよう、情報誌『漢検ジャーナル』を年2回発行し、送付を希望する学習者・保護者・教員をはじめ一般の方々、漢字ミュージアムの来館者等に無料で配布します。

（３）漢字文化啓発イベント

以下2件の啓発イベントを行います。

①「今年の漢字®」

広く一般の人々に漢字の持つ奥深さ、素晴らしさを再認識してもらうため、年末に全国から「その年の世相を表す漢字一字」とその理由を募集し、最も応募数の多かった漢字を京都・清水寺貫主の揮毫により発表します。1995年より実施しており、本年は12月12日の「漢字の日」に発表する予定です。

②「第11回 今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」

大切な人へ想いをこめた漢字一字とメッセージを贈るコンテストを実施し、全国から作品を募集します。2013年より実施しており、回を重ねるごとに単なる漢字文化の啓発だけではなく、道德教育としての意義も認められてきています。

応募作品の中から、絆大賞・協会賞・審査員賞・佳作を選考し、応募団体の中から団体賞も選考します。受賞作品および受賞者は、ホームページを通じて発表するとともに、年度末に京都にて授賞式を開催し表彰します。さらに、入賞作品を作品集としてまとめ、前年度応募があった団体のみならず、応募を検討する団体や希望する個人などへ無料配布します。

(4) 助成

「漢字まなび活動助成制度」

日本全国における漢字学習の振興を目指し、各地域の団体が行う非営利目的の漢字学習振興に寄与する活動に対して、活動費用の一部（活動費用の1/2以下、1件あたり上限30万円。年間総額300万円）を助成します。

(5) 支援活動

経済的、環境上の理由により、検定の受検や漢字学習が困難な児童生徒に対し、漢字検定の受検機会や学習教材の無償提供等の学習支援を行います。

[対象]・義務教育段階における要保護世帯の児童生徒

・厚生労働省の定める児童自立支援施設・児童養護施設・児童心理治療施設に在籍する児童生徒

(6) Webサイトの運営

①漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めてもらうために、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア®」を運営します。

②漢字・日本語への興味関心を高めてもらうために、漢字・日本語の身近な話題や有識者のコラムを掲載するキュレーションサイト「漢字カフェ®」を運営します。

③新しい学習指導要領に記述がある「言語活動の充実」に資するため、言語活動に取り組む先生方に情報を提供する会員制ポータルサイト「TEACHannel®」を運営します。

④各団体の学習目標達成や課題解決のために、検定（漢検・文章検）や各協会コンテンツをより効果的に利用いただくための「団体サポートサイト」を運営します。

2. 調査及び研究活動

漢字ミュージアムの開館とともに設立した漢字文化研究所を中心に、日本の漢字を日本文化の側面から詳らかにする調査研究や、日本語教育・漢字教育およびそれぞれの検定・テストの質的向上に資するため、次の(1)～(2)の2部門で調査・研究を行います。

(1) 漢字文化研究

① 顕彰（漢検漢字文化研究奨励賞）

漢字研究、漢字に関わる日本語研究、漢字教育等、広く漢字文化に関わる分野における優れた学術的研究論文・調査報告等に対し、漢検漢字文化研究奨励賞を贈り、顕彰・奨励します。2006年より実施しており、今年で18回目となります。

最優秀賞：100万円 優秀賞：50万円 佳作：30万円

② 日本漢字学会との連携

漢字文化を多岐にわたって研究するために2018年3月に発足した日本漢字学会の事務局機能を担いながら、学会に所属する全国の漢字研究者および有識者と連携し、研究活動を推進します。

(2) 日本語・漢字教育研究

① 研究助成（漢字・日本語教育研究助成制度）

漢字・日本語教育の質的向上に資することを目的に、学校教育法に定める各学校の教職員、およびこれらの教職員で構成される研究会等が行う漢字・日本語教育の研究活動に対して研究活動費を助成し、意義ある教育活動を社会に公表します。2006年より実施しており、一時休止期間を経て今年で16回目となります。

1テーマ50万円以内、年間総額500万円以内

② 日本語・漢字学習に関する学際研究

ア) 漢字学習が認知・脳機能に及ぼす効果の検証研究

2021年度まで行っていた京都大学との共同プロジェクト「ライフサイクルと漢字神経ネットワークの学際研究」のうち新型コロナウイルス感染症の蔓延により完了できなかった研究テーマについて、研究を継続します。

イ) 人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究

2021年度まで行っていた京都大学との共同プロジェクト「人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究」の成果をもとに、協会内で引き続き研究を行います。

3. 日本語能力育成活動

日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、講演会、研修会、セミナー、教材の発行等を行います。また、学習の達成度を測る検定試験を実施し、能力の定着と伸長を図り、さらなる学習意欲を喚起します。

(1) 日本漢字能力検定（漢検）

単に漢字を「読む」「書く」という知識量のみを測るのではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使う能力を測定するための検定をPBT（Paper Based Testing）とCBT（Computer Based Testing）で実施します。

① 実施日：2023年度は、年間16日程実施します。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	2023年6月18日（日）	1～10級	2023年6月9日（金）	2～10級
			2023年6月18日（日）	2～10級
			2023年6月24日（土）	2～10級
			2023年7月7日（金）	2～10級
第2回	2023年10月22日（日）	1～10級	2023年8月23日（水）	2～10級
			2023年10月13日（金）	2～10級
			2023年10月20日（金）	2～10級
			2023年10月22日（日）	2～10級
			2023年10月28日（土）	2～10級

			2023年11月2日(木)	2～10級
			2023年11月10日(金)	2～10級
第3回	2024年2月11日(日)	1～10級	2024年1月20日(土)	2～10級
			2024年1月26日(金)	2～10級
			2024年2月9日(金)	2～10級
			2024年2月11日(日)	2～10級
			2024年2月17日(土)	2～10級

※C B T受検は、都合のよい日程と会場を選んで受検が可能。(実施日と開始時間は会場によって異なる。)

② 志願者数予測

級	人数	級	人数	級	人数
1級	3,200名	3級	385,600名	7級	103,400名
準1級	19,000名	4級	211,200名	8級	101,400名
2級	144,700名	5級	168,900名	9級	88,000名
準2級	246,000名	6級	106,100名	10級	72,500名
合計					1,650,000名

③ 検定会場・会場数予測

- ・ 個人受検（公開会場）
全国47都道府県の主要約120都市（約180会場）
- ・ 団体受検（準会場）
団体申し込みの学校・企業等（約20,000会場）
- ・ C B T受検（公開会場・準会場）
全国47都道府県の公開会場（主要約180都市約300会場）や準会場（約100会場）

④ 検定料（P B T・C B Tとも）

級	検定料（税込）	
	公開会場 （個人受検・団体公開会場受検）	準会場 （団体受検）
1級	6,000円	-
準1級	5,500円	-
2級	4,500円	3,500円
準2級～4級	3,500円	2,500円
5級～7級	3,000円	2,000円
8級～10級	2,500円	1,500円

⑤ オンライン型C B T受検（団体受検）

団体受検を対象としてタブレット端末を用いて受検できるオンライン型のC B T受検を開始します。

⑥ 各種表彰制度

受検者の学習意欲の向上を目的として、満点を取得し合格した受検者には「満点合格証書」を発行し、家族で受検し合格した方への「家族受検表彰制度」並びに受検団体内での表彰を支援する「表彰支援制度」を実施します。また、広く漢字学習に取り組んでいる人の努力を賞し、励みとする目的で、成績優秀な個人および団体を表彰します。

(2) BJTビジネス日本語能力テスト (BJT)

主に日本語を母語としていない人々を対象に、文法・語彙・漢字等、日本語の言語知識があることを前提とした上で、それらを活用し、与えられた情報に対処できる、日本語によるビジネス・コミュニケーション能力を客観的に測定するテストをCBT形式で実施します。

① テスト実施日

テスト会場の開設日時に応じて随時受験可能

② 志願者数予測

実施地	人数
日本	3,600名
海外	2,800名
合計	6,400名

③ 実施地

日本：約40都市 約45会場／海外：18の国・地域、約40都市約60会場

④ 受験料 7,000円 (税込、日本国内)

※海外での受験の場合は、各国・地域で定めた受験料

⑤ 問題数と時間 80問 約105分

(3) 文章読解・作成能力検定 (文章検)

社会で必要とされる論理的な文章能力の養成を目標として、日本語の能力を基礎力・文章読解力・文章作成力の各側面から測る検定を実施します。2017年度より、公開会場での受検も開始しています。なお、文章読解・作成能力検定 (準2級、3級、4級) は、文部科学省が推進する「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツールに認定されています。

① 実施日

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
2024年2月11日 (日)	2~4級	2023年8月24日 (木)	準2~4級
		2023年11月2日 (木)	準2~4級
		2023年11月11日 (土)	準2~4級
		2024年1月17日 (水)	準2~4級
		2024年1月25日 (木)	準2~4級
		2024年2月11日 (日)	2~4級

※各団体において、受検者の実力を測り、指導に役立てられるよう、検定実施日以外の任意の日時・場所で実施することができる文章力テストを提供します。

② 志願者数予測

35,000名

③ 検定会場・会場数予測

- ・個人受検 (公開会場) 東京・大阪の2会場
- ・団体受検 (準会場) 団体申込の学校・企業等 (約700会場)

④ 検定料

級	検定料 (税込)
2級	4,000円

準2級	3,000円
3級	3,000円
4級	2,000円

(4) 学習支援講座

① 漢字・日本語講座

日本漢字能力検定の上位級（1級・準1級）に合格した上で、さらに漢字・日本語の学習に励みたい方のための研鑽・交流の場として、希望登録制の「漢検 生涯学習ネットワーク（2022年12月末時点会員数約11,183名）」を組織しています。このネットワークでは、会員を対象に専門的知識と能力育成のための研修会を開催するほか、「漢字教育サポーター育成講座」（2021年度で終了）もしくは立命館大学が実施する「漢字教育士」資格認定講座カリキュラムを修了し「漢字教育サポーター」として登録した方のプロフィールをホームページ等で公開し、学校や地域等の要請に沿う方をご紹介します等、地域における漢字・日本語講座の開催を支援します。

＊「漢検 生涯学習ネットワーク」

会員の専門的知識と能力育成を目的に、会員向けの通信を年3回程度発行（ホームページでも公開）するほか、専門家の講義および会員の研究発表等を行う研修会を、年3回程度開催します。

② 学習支援セミナー

日本語・漢字の能力の着実な習得や伸長を図るため、各自治体の教育委員会や学校を通じて有用な学習法や指導法等の提案、情報提供を行う学習支援セミナー（参加無料）を開催します。また、企業からの要望を受けて、文章能力を軸とした論理的思考やコミュニケーションに関する組織内研修としての学習支援セミナー（有料）も開催します。

(5) 教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、全国の書店や教育現場を通じて提供します。本年度の販売冊数は92.0万冊を見込んでいます。

① 検定・テストに対応するもの

日本語・漢字の運用能力を向上させるために、検定試験の各級に対応して学習するものや分野別に学習する教材を提供します。

[漢 検] 12シリーズ 73種類
[BJT] 1種類
[文章検] 3シリーズ 12種類

② 日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

小学校に入る前の幼児から学生、社会人や高齢者までが、生涯にわたって様々な学習を継続する上で基礎となる漢字・日本語に興味関心を引くことのできる学習コンテンツを提供します。

『漢検の絵本 いちまるとふしぎな手』 『さわって！あそんで！みんなの漢字』

『マンガで体験！にっぽんのカイシャ ビジネス日本語を实践する』

『それ、知りたかった！カイシャの日本語～マンガで学ぶ ビジネススキル&ボキャブラリー～難易度別語彙表 付き』

『7日でチャレンジ 文章作成ワーク』

『漢検漢字辞典第二版』 『四字熟語辞典第二版』

『漢字学ことはじめ』（日本漢字学会編）

『いちまるLINEスタンプ』 ＊漢検公式キャラクター

③ デジタル教材

PCやスマートフォン、タブレット、ゲーム機器などを活用した学習教材をソフトウェアメーカー各社と共同開発、また、自社開発によるコンテンツを提供します。

また、ビジネスシーンで必要とされる論理的文章能力の法人向けアセスメントツール「論理的文章力トレーニング Assessment」に加えて、学習ツール「論理的文章力トレーニング Learning」を新たに提供します。

④ 電子書籍

電子化した3種類の書籍を提供します。

『漢検の絵本 いちまるとふしぎな手』

『マンガで体験！にっぽんのカイシャ ビジネス日本語を实践する』

『BJT ビジネス日本語能力テスト 公式 模擬テスト&ガイド』

Ⅲ. その他

特記事項なし。

以上